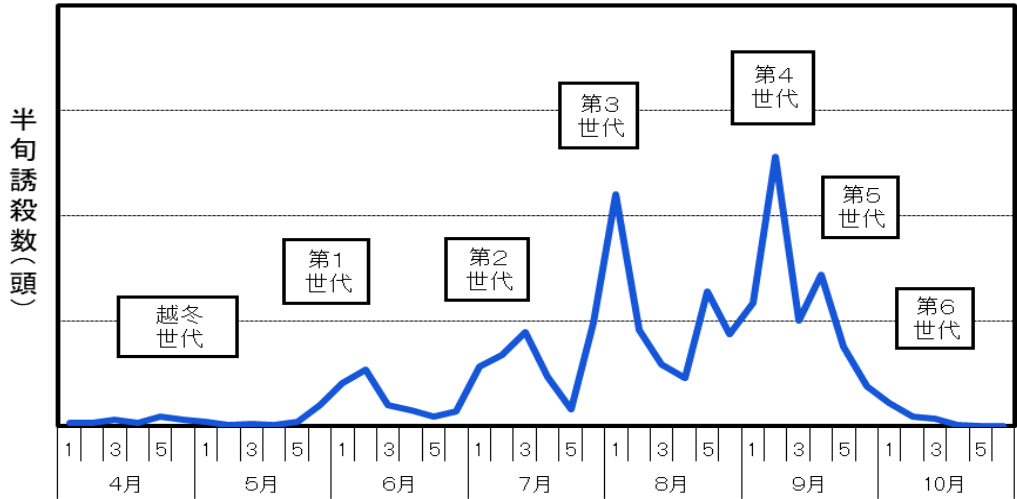


# モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

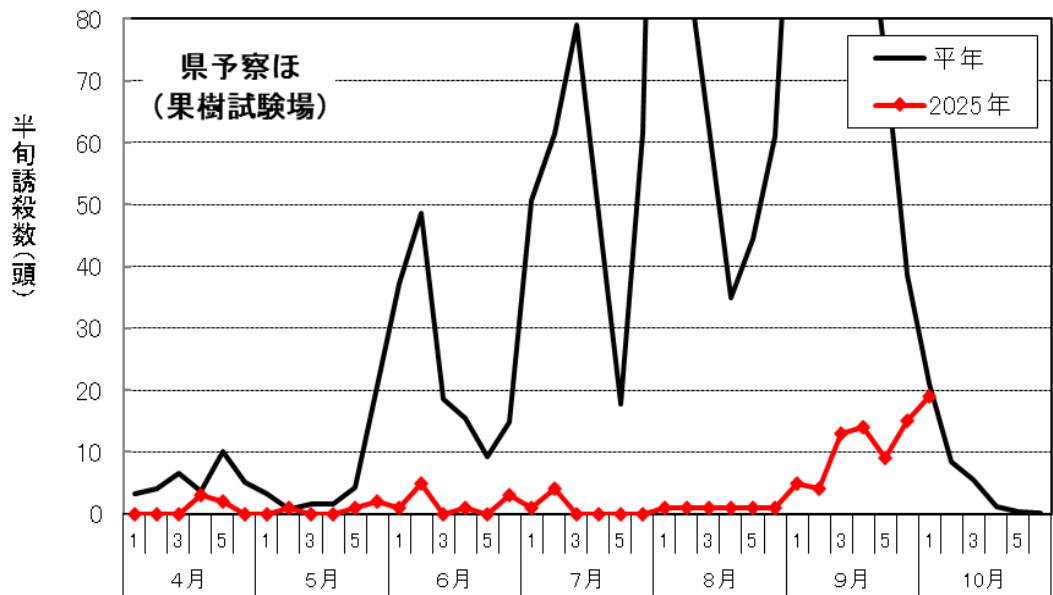
過去10年間の消長模式図（長野県果樹試験場内 県予察ほ）



## 【発生生態と防除のポイント】

- ・年6～7回発生する。
- ・各世代成虫の発生最盛期は、越冬成虫が4月下旬、第1世代は6月上旬、第2世代は7月中旬、第3世代は8月上旬、第4世代は8月下旬、第5世代は9月下旬、第6世代は10月中旬頃である。
- ・寄生量は第3世代から急増し、第4、5世代は高密度となる。
- ・発生が多くなる第2～4世代の防除が重点になる。
- ・薬剤防除の目的は、主に幼虫による葉への食入防止である。

## ○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



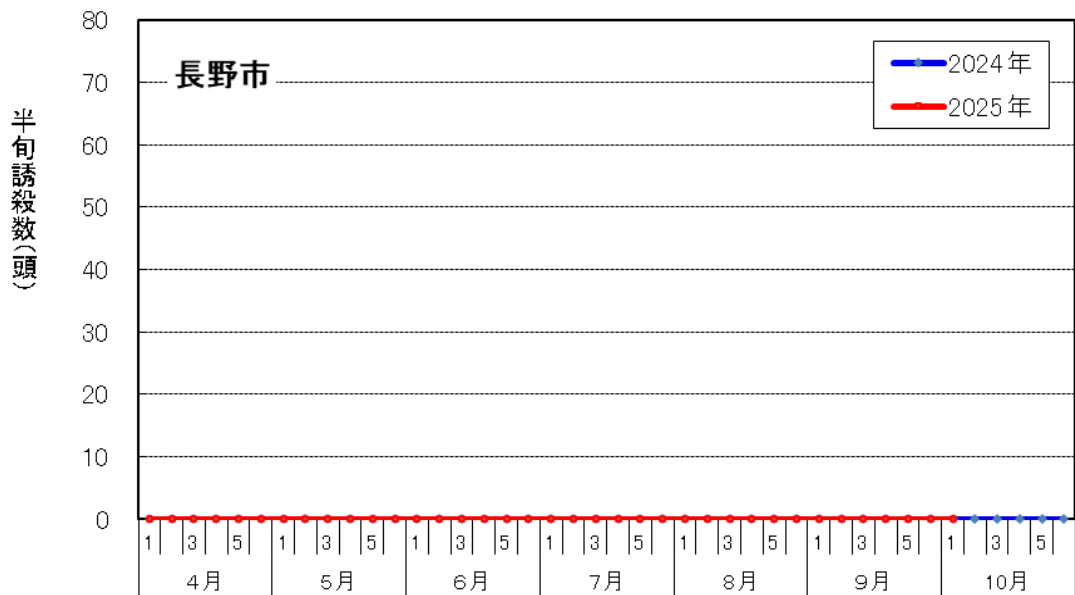
## 【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市 果樹試験場（ももほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

## 【コメント】

- ・9月までの本年の誘殺頭数は、過去10年の平年より大幅に少なかった。
- ・平年では9月上旬の第4世代成虫の誘殺ピーク以降は急速に数を減らすますが、本年は9月第2半旬以降ほぼ右肩上がりに誘殺数が増えており、発生期間が長くなる兆しがみられている。

## ○長野市（病害虫防除部）



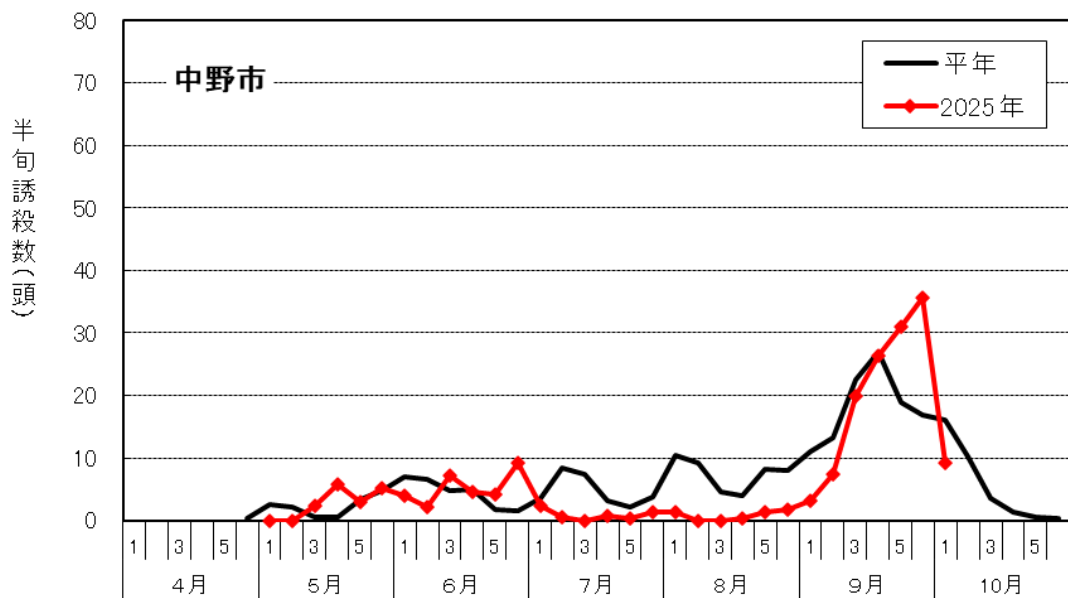
## 【調査地点】（標高約343m）

- ・長野市（ももほ場）
- ・2024年にほ場を変更したため、平年値はない。

## 【コメント】

- ・周辺はももモを含めて果樹園が広がるが、このほ場では、昨年今年と誘殺がみられていない。

## ○中野市（北信農業農村支援センター調査協力）



## 【調査地点】（標高約370m）

- ・中野市（ももほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

## 【コメント】

- ・7、8月と平年を下回りほとんど誘殺されない期間が続いていたが、9月第1半旬以降増加を始め、第4半旬以降は平年を超えて誘殺されるようになった。
- ・10月第1半旬は誘殺数が減り、本地点は終息に向かう可能性がある。